

えちご一会

2005
創刊号



巻機山・牛ヶ岳 紅葉



目 次

- 会長挨拶 ―会報「えちご一会」発行にあたって―
- 協会の動き
 - ・委員会報告
 - ・'05 建築士事務所キャンペーン
 - ・全国大会報告
- お知らせ
 - ・会長の動向・事務局ダイアリー
 - ・新入会員のご紹介
 - ・協会HP会員専用ページ



社団法人 新潟県建築設計事務所協会

〒951-8131 新潟市白山浦1丁目614番地 白山ビル6F
TEL (025)265-4748 FAX (025)231-6553
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~kjk15/>
E-mail kjk15@lily.ocn.ne.jp



会報「えちご一会」発行にあたって

会 長 藤 田 松 夫

会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年は7.13水害、中越地震と大災害が続き、その度にボランティアとしてご協力いただき、誠に有難うございました。

中越地震では（社）日本建築士事務所協会連合会をはじめ全国の事務所協会から多大なお見舞金をお寄せいただきましたが、当協会分も含め約600万円を義援金として県に寄付をいたしました。被災者の方々の生活再建に少しでも役立てばと思っているとともに、全国の会員の善意に深く感謝しております。

さて、国・自治体発注の工事について特殊なものを除き殆ど全てが価格のみしか評価しない入札によって発注されている現状について有識者からは、公共工事の品質を憂える声があがっておりました。特に本来入札になじまない設計業務まで入札によって設計者が決定されており、土木も含めた設計・コンサルタントの関係団体は「入札によらない設計者選択の方法」等の提言をしてまいりました。

本年4月に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」（品確法）がようやく施行になり、価格のみならず技術提案も含めた総合的な評価によって発注がされることになりました。

このことは、建築士事務所としての技術力が要求されているものであり、今後の事務所経営に大きな影響を与えるものと思っております。

日事連では業務支援サービスや各種の情報をHPや機関誌等を通じ提供しておりますが、これらを有効に活用し業務に役立ててもらいたいと思っております。

当協会は本年度、県から「雪国の実情に応じた住宅の耐震改修工法に関する業務」の委託を受け、特別委員会を設置し検討を進めております。3月末には報告書を県に提出することになっております。また中越支部では長岡市から「被災者住宅相談窓口相談員派遣業務」の委託を受けるなど、ようやく行政機関から協会の役割について認識されるようになってまいりました。

今後も活動を通じ、行政だけでなく、一般の人にも協会を知っていただくために努力をする所存ですので、会員各位のご協力をお願いいたします。

委員会報告

日事連 業務技術委員会

委員 高橋 伸矢(上越)

10月で平成16年から第5回目。構成は理事含め7名他中川・北野氏に事務局3名。

■平成17年度事業計画

- ① 業務報酬改善に関する調査研究
- ② 技術者人件費及び標準人・日数に関する調査研究
- ③ 業務・技術に関する情報提供
- ④ 技術関係図書の改訂・整備及び講習の実施
- ⑤ 建築士事務所賠償責任保険制度の調査研究
- ⑥ その他業務拡大に関する調査研究等

■主要協議事項

- ① 価格低下対策が急務。最低制限価格設定の陳情を要望する意見多数。我々を取り巻く業務環境が変わって来ている。新資格の調査など急を要する。改修は技術的に新築より難しい分野で経験も重要。さらに教育も必要。
- ② 原価管理ソフト開発の提案。告示1206号施行後25年経過、この間に業務環境は激変する。業務量の増加、日額人件費の漸減。告示の改訂図るにも客観的基礎データの提出が必要。開発に1年、各事務所へのアンケート統計で2～3年かかる見込み。各事務所では原価管理に利用。
- ③ 会報にシリーズで構造性能規定等セミナー掲載中。
- ④ 「知っておきたい建築構造設計Q&A講習会」実施。その他分野別講習については、4機関から資料配布予定。1) マネージメント、2) コスト、3) Q&A、4) CALS。
- ⑤ 賠償補償が限界に来ており、4月以降には値上げ等の検討。競争参加資格申請の条件になっている高知県の事例も。
- ⑥ 業務拡大調査研究
ア) マンション管理士資料
イ) 防犯管理士資料

ウ) 中古住宅ローン減税のための耐震診断業務
エ) 行政のアウトソーシングについて広く研究

総務委員会



委員長 島田 誠示

4月14日に第1回総務委員会が開催され、16年度事業でキャンペーンの実施・全国大会参加・中越地震の被災アンケート調査・災害見舞及び義援金の使途配分について、更に定款と細則の見直し及び会員事務所のPR方法について検討が報告され、17年度事業計画の検討があり、定款の見直しで協議会制度の明文化・支部顧問の廃止、細則で支部地域の見直し・旅費は実情に即したのに見直しする・建築士事務所キャンペーンは下越支部が担当・全国大会参加・福利厚生では高速道路法人カードの紹介・賠償責任保険の加入促進・会員の増強・地方自治体への会員のPR及びHPの紹介・その他災害時に於ける行政及び関連団体との連携ネットワークの構築等が討議された。全国大会については既に9月16・17日に埼玉で開催されました。総務委員会としては協会の健全運営・会員の増強等努力し情報の共有化を推進する必要があると思います。会員のメリットは与えられるものでなく自ら参加することで得られるものではないでしょうか。全事務所が加入してこそ真の協会であり力を発揮できると思います。是非会員増強に皆様の御尽力をお願いする次第です。

業務委員会



委員長 遠山 紀芳

一昨年からの藤田新体制の中で、突然の業務委員長を仰せつかりました。林副会長のもと、8名の委員会構成でベテラン理事に支えられながら2年目も後期を迎えておりま

す。

今年度の業務委員会の事業は例年行っておりま
す、「建築士事務所の業務報酬算定指針」の発行
と、大臣・知事指定講習「建築士事務所開設者研
修会・管理講習会」の実施が主な事業となってお
りますが、前記指定講習は今年度で大臣指定が廃
止となり、来年度からは日事連で指定講習受講者
に対する、一般ユーザーにも対応しうる、情報公
開も含めた分野別講習等と合わせ「建築士事務所
の経営・業務管理研修制度」の実施要綱が示され
て来ております。

変革の時代に対応しうる協会事業のあり方・建
築設計事務所の社会的認知と地位の向上・魅力あ
る協会にするために、何をしたら良いのか……？

会員の皆様から積極的なご意見とご協力、頂け
ますようお願い致します。

技術委員会



委員長 伊藤 晋 栄

昨年度から新しい委員会構成になり、
これまで先輩諸氏が築き上げてこられ
た事業に対し、見直しをしながら活動することに
しました。

事業計画としては、

- 1) 建築作品の募集
- 2) 建築技術の向上のための講演会
- 3) その他

の方針をたてて取り組んでおります。

「建築作品の募集」につきましては募集方法と
表彰の検討もあわせて検討しております。これは、
課題内容を意匠中心だけでなく、構造・設備・材
料等の部門別にするなどして賛助会員の皆様も参
加の出来るような方法も視野に入れて検討してい
きたいからです。また「建築技術の向上のための
講演会」では対象範囲を事務所の所員の方々にま
で広げることで、「資格取得講習会」や、他の委
員会の協力を得ながら「初歩の構造計算」「電気
設備・機械設備の図面の読み方」等、これまた事
務所協会独自の講習会が出来たらと考えています。

昨年は、突然の中越地震の影響で、その後の委

員会活動が滞りましたことをお詫びします。

分野別講習会の実施

- ・「木造住宅の耐震診断と補強方法」講習会
平成17年6月29日(水)
ハイブ長岡 2F特別会議室
受講者 327名

指導委員会



委員長 斉藤 勝

誠に恐縮ながら委員長の力不足で、
昨年の中越地震より委員会を開催して
おりません。

17年度の事業計画である、①設計等を委託す
る建築主等からの苦情処理、②住宅アドバイザー
制度の運営、について委員会を開催し(10月中
頃)、少しでも前進したいと思います。

・報告

- | | |
|---------------|----|
| 17年度の苦情処理件数 | 0件 |
| 17年度のアドバイザー件数 | 9件 |

組織拡充委員会



委員長 中村 優 晴

近年日本は、ITの目覚ましい普及に
より、情報の多極化また多様化が益々
進んできています。これから協会は、単に情報を
得るための組織としては存在価値がうすれ、会員
は減少傾向にあります。当委員会は、協会の抱え
る会員の減少を何とか留め、拡充するため藤田会
長の下、肝いりで設置された委員会です。委員会
では会員の減少要素を下記のテーマから考え、会
員が協会員である事の価値を感じられる組織とす
るための企画を検討しています。

1) 協会組織拡充について

① 組織拡充に向けた事業

会員を減らさないための方策、更には会員
を増やす方策を立上げ、魅力ある協会とする
ための事業。

- i. 会員を減らさないための具体的方策

ii. 会員を増やすための具体的方策

② 魅力ある協会創出のための事業

2) 広報活動事業

① マスコミ等の有効活用をはかり協会の社会的認知度を高めるための事業

② HP会員専用ページ及び会員名簿の充実

以上を、上中下越支部長はじめ各地区で活躍の会員による7人のメンバーで精一杯、頑張っています。会員の皆様の絶大なご協力、温かいご支援を宜しくお願い致します。

〈正会員、賛助会員の皆さんに是非ともお願いします。〉

協会員である事の意識を高めひいてはモラル向上の為に名刺に協会員である事の表示をお願いします。

例)

新潟県建築設計事務所協会 会員

〇〇〇〇株式会社

新 潟 太 郎

地震対応特別委員会



委員長 内 藤 幹 雄

1. 平成17年度第1回全国ネットワーク委員会出席

6月28日 霞ヶ関ビル 東海大学校友会館

概要報告……ホームページに掲載

入手資料……事務局保管

雑感：

阪神・淡路大震災を契機に発足した「全国ネットワーク委員会」は、文部科学省や国土交通省の後押しによる国レベルでの既存建物の耐震化を進める目的で、年2回開催されています。

私は今回で3回目の参加となりますが、委員会で報告される耐震化の推進強化対策や現状の進捗状況、また具体的な改修方法などは、中越地震を体験した者として、直接業務に反映される実感を強く感じております。

また、新潟県内の公共施設の耐震化は徐々に進みつつあるように思われますが、木造住宅は未だ非常に少ない状況にあります。我々設計に携わる者は、この分野にも積極的に関わる責任があると強く感じているところです。

2. 下越支部主催 シンポジウム「中越地震の教訓」にパネリストとして出席

8月5日 新潟市産業振興センター

地震の体験と復旧事例の紹介。

3. 耐震判定会への協力

開催日：4/28、6/16、7/5、7/29、9/6

'05 建築士事務所キャンペーン

2005年10月8日(土)、9日(日)の二日間にわたり、'05建築士事務所キャンペーンが新潟総合テレビ本社社屋に於いて開催されました。開催の趣旨は名称変更した事務所協会を多くの人に知って貰いたいということでした。

当日はNSTまつりが華々しく開催されたということもあり、1万8千人の入場がありました。私たちは2,000個の可愛い植



木と新名称の協会パンフレット、また800個の風船を用意しましたが、あったという間に配布し、大きな成果を得ることが出来ました。

二日間にわたりお手伝いを頂いた下越支部の皆さんに心から感謝いたします。



全国大会報告

第30回全国大会に参加して

副会長 島田 誠 示

今回の大会は関ブロの埼玉会が担当で大宮ソニックシティで開催されました。

参加者26名で天木名幹事の計らいでサロンバスを仕立て、一路会場へ。分科会に出席すべく車中弁当を取りながら直行しました。受付では上越の高橋、山本両氏が埼玉会の要請で手伝っておられ出迎えて頂きました。

早速それぞれ分科会に分かれ、私と内藤さんは「低強度コンクリート造建物を対象とした耐震診断・耐震改修」に参加、既存低強度RC造建物の耐震補強にあた

っては①強度抵抗型の補強を心がける②構造耐震判定指標を高める③建物の補強により脆性的な破壊を避ける④付着割裂破壊に注意する⑤補強部に用いるアンカーはせん断抵抗型とする等難しいようです。資料は事務局におきます。

その後、基調講演で早大吉村教授の「古代エジプトの都市とその生活」を聞き、大会に入り大会宣言が朗読され、2年後は大分大会と採択されました。

記念パーティーには会長と林副会長が参加し、私達は宿泊地の「新道山家」へ直行。宿は明治21年創業で格調の高さが伺え、会席膳での宴会はご当地美人を交え満足のいくものでした。

翌日は筑波の「地図と測量の科学館」を見学、20万分の1の地球儀に登り目の高さが地上300キロに相当するとの事で、まるで宇宙飛行士になった気分で、皆さん日本列島海域の広さにびっくりしていました。その後埼玉県立近代美術館を見て同館付属のレストランでイタリアのパスタ料理と本場ワインで大会を祝し、一路帰途に着きました。

車中、幹事の機転で模擬結婚披露宴がはじまり前代未聞の披露宴で爆笑の中に無事帰ることが出来ました。



全国大会は協会のイベントとして全国の仲間同士が集まり情報を得ることで建築士事務所の意識の高揚に繋がるものと思います。皆さん大勢の参加を期待いたします。

最後に上越の高橋さん、山本さん、受付で苦勞様でした。

お知らせ

●会長の動向●

5月・6月	関連団体等総会5回
5月26日(木)	建築住宅センター理事会
6月6日(月)	新潟ゆとりの住まいづくり推進協議会 検討委員会(1)
6月9日(木)	日事連決算総会・全国会長会議
6月24日～25日	日事連関プロ協議会
7月8日(金)	新潟ゆとりの住まいづくり推進協議会 検討委員会(2)
9月9日(金)	公庫－平成17年度新潟県地域住宅 施策連携会議
10月6日(水)	第101回関プロ協議会
10月29日(土)	H17年度住宅耐震化セミナー 新潟ゆとりの住まいづくり推進協議会
8月～10月	県等委託事業打ち合せ会8回

●事務局ダイアリー●

9月1日(木)	会報創刊号について打合せ会
9月1日(木)	日事政研 役員会
9月12日(月)	組織拡充委員会 小委員会(2)
9月16日(金)～17日(土)	第30回建築士事務所全国大会(埼玉大会)
9月20日(火)	管理システム事務局意見交換会(5)
10月8日(土)～9日(日)	建築士事務所のキャンペーン
10月14日(金)	組織拡充委員会 小委員会(3)
10月24日(月)	業務委員会3・管理講習会講師打合せ会
11月4日(金)	「建築士事務所の開設者研修会・管理講習会」 〈新潟会場〉
11月10日(木)	執行部・委員長会議
11月16日(水)	「建築士事務所の開設者研修会・管理講習会」 〈長岡会場〉

●新入会員のご紹介●

平成17年4月～10月までの入会員をご紹介します。

正 会 員

●下越支部

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
(有)熊倉建築設計事務所	熊 倉 一 夫	〒959-1604 五泉市論瀬119-4	0250-42-0514	0250-42-1014
(株) ジ ー ル	加 藤 新 一	〒951-8151 新潟市浜浦町2-12-1	025-230-4120	025-230-4122
(株) 信 越 測 量 設 計	小 野 英 雄	〒950-0914 新潟市紫竹山4-9-2	025-241-2311	025-241-1038

●中越支部

高野不動産一級建築士事務所	高 野 融	〒940-0088 長岡市柏町1-4-33	0258-33-7727	0258-33-7739
小 柳 組 の 設 計 室	小 柳 英 治	〒959-1314 加茂市番田9-1	0256-52-0045	0256-53-2182
オ オ ノ 設 計 室	大 野 敬 治	〒940-0026 長岡市石内1-4-17	0258-32-3465	0258-32-3465
(株) 佐 田 建 築 事 務 所	佐 田 和 弘	〒940-0094 長岡市中島4-3-20	0258-36-2310	0258-30-1273
(株) 稲 田 設 計 事 務 所	稲 田 武	〒940-0211 栃尾市大字小貫79	0258-52-1148	0258-53-2988
設 計 室 タ カ ノ	高 野 秀 勝	〒940-0867 長岡市豊1-10-5	0258-34-3460	0258-34-3445
山喜屋材木店建築設計事務所	山 吉 崇 喜	〒949-7504 北魚沼郡川口町川口1979-142	0258-89-2037	0258-89-2373

●上越支部

本 間 清 一 建 築 研 究 所	本 間 清 一	〒941-0002 糸魚川市中浜126-1	025-555-3203	025-555-3254
-------------------	---------	-----------------------	--------------	--------------

賛 助 会 員

●下越支部

六 興 電 気 (株) 新 潟 支 店	内 藤 藤 雄	〒951-8165 新潟市関屋金鉢山町53	025-266-8151	025-266-1484
アイカ工業(株)新潟営業所	竹 内 忠 浩	〒950-0916 新潟市米山3-1-63 (マルヤマビル7F)	025-245-8596	025-245-8597
(株)ナガオカサッシ工業新潟事務所	西 澤 正 彦	〒950-0925 新潟市弁天橋通1-35-11	025-257-8411	025-286-2134
林 工 業 (株)	国 分 登 紀 男	〒950-0213 新潟市木津工業団地1-20	025-385-2153	025-385-4036
飛鳥建設(株)北陸支店新潟統括出張所	石 黒 真 一	〒950-0087 新潟市東大通2-1-20 (ジブラルタ生命ビル)	025-245-6551	025-245-6554
(株) 企 画 商 事	栗 野 勝	〒950-0134 新潟市亀田曙町3-13-28	025-381-1991	025-381-1997

●上越支部

高 坂 防 災 (株)	高 坂 榮 一	〒943-0838 上越市大手町4-14	025-524-6175	025-522-5746
和 光 物 産 (株) 高 田 支 店	古 澤 範 男	〒943-0826 上越市幸町14-12	025-524-3300	025-524-3349
(株) 謙 信 堂	小 林 富 佐 夫	〒943-0838 上越市大手町5-45	025-524-4154	025-524-6070
(株) 栗 原 金 商	阿 部 和 吉	〒943-0823 上越市高土町1-10-5	025-524-7175	025-524-6243

新情報を随時掲載しています。協会HPを開きましょう!

●協会HP会員専用ページ●

(H17. 11.1 現在)

■協会スケジュール

- 日事連会務月報 第271号 [17. 10. 18掲載]

■協会情報

- 第5回業務・技術委員会議事録 [17. 10. 18掲載]
- 平成17年度第1回既存建築物耐震診断・改修等推進「全国ネットワーク委員会」全体委員会（報告）
[17. 8. 31掲載]
- 既存住宅等を取得した場合に於ける所得税等の特例を受けるための建築士の証明について [17. 7. 1掲載]
- 新潟県中越地震の義援金を追加して寄付いたしました [17. 4. 4掲載]
- 日事連業務支援サービスの開始について [15. 10. 24掲載]
- 平成15年度優秀建築作品を掲載しました
画面上部の「会員建築作品」からご覧ください。

■各種講習会の御案内

- 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
「建築改修工事監理指針（平成16年度版）講習会」のご案内 [17. 10. 12掲載]
- 既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造学校建物の
「耐力度測定方法〈改訂版〉実務講習会」のご案内 [17. 10. 7掲載]
- 「あんしん、あんぜんのリフォーム・改修セミナー」のご案内 [17. 9. 21掲載]
- 「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針、既存壁式鉄筋コンクリート造等の建築物の簡易耐震診断法」講習会のご案内 [17. 9. 21掲載]
- 「改正建築基準法に伴う公共建築物定期点検業務基準講習会」のご案内 [17. 6. 27掲載]
- 平成17年度国土交通大臣登録「特殊建築物等調査資格者講習」のご案内 [17. 6. 16掲載]

■行政ヘッドライン

- 大規模空間を持つ建築物の天井の崩落対策について（通知） [17. 8. 20掲載]
- 建築基準法に係る大臣認定書の偽造について（通知） [17. 4. 1掲載]
- 新潟県の電子申請・届出システム
建築設計事務所の登録事項変更の届出（名称または所在地の変更に限る）が、パソコンからインターネットを通じて受付できるようになりました。詳しくは新潟県ホームページをご覧ください。 [16. 5. 26掲載]

編集あとがき

越後の人たちは『い』と『え』の発音が苦手であります。

一期一会——茶の心得をチョイト拝借し、訛った訳ではありませんが『えちご一会』と銘打って皆様の会報が新生スタートします。

発行は年2回を予定し、正・賛助会員は元より所員、事務員の方々の投稿をお待ちいたします。

テーマは設けず、エッセイ・小断・趣味・自慢・PR、何でも結構です。ネットではなく紙面の『ブログ』として皆様にご利用して頂きたいと思ひます。(志賀康治)

えちご一会 2005 創刊号

発行：平成17年11月

発行所：(社)新潟県建築設計事務所協会
会長 藤田 松夫

編集：組織拡充委員会

委員長 中村 優晴
副委員長 角南 邦彦 志賀 康治
委員 池田登実男 齊藤 勝
木村 雅俊 高橋 伸矢

表紙写真 藤田松夫氏撮影